

---

# **耐性菌条件/警告・案内定義ファイル 作成インターフェース web アプリケーション版 利用手引書**

---

2017年8月23日 初版

## 目次

---

1. はじめに .....	3
2. システム要件 .....	4
3. 起動 .....	5
4. 操作方法 .....	7
4.1. 画面構成・基本操作.....	7
4.1.1. 定義ファイル取込/出力メニュー.....	8
4.1.2. 菌選択/削除/登録メニュー .....	8
4.1.3. 基本情報編集メニュー.....	9
4.1.4. 条件定義編集メニュー.....	10
4.2. 利用手順 .....	14
4.2.1. 定義ファイル取込.....	14
4.2.2. 菌条件編集・作成.....	15
4.2.3. 定義ファイル出力.....	16
5. 改版履歴.....	17

## 1. はじめに

---

このシステム(耐性菌条件/警告・案内定義ファイル作成インターフェース)は、「耐性菌条件/警告・案内定義メッセージ定義書【Ver.4.0】」に準拠した耐性菌条件、警告案内メッセージ定義ファイルを、わかりやすいインターフェースで作成するためのものです。「耐性菌条件/警告・案内定義メッセージ」は、問題になる耐性菌が検出されたときに、検査機器、病院システムなど「水際」で検出を警告し、その検出に対して次に行うべき作業についての案内メッセージを定義する目的で開発されましたが、論理的な耐性菌の定義を可能としているため、耐性菌の定義ファイルとしての利用も可能で、既に、JANIS 検査部門の2DCM-webなどで利用されています。2DCM-web利用者による利用、検査機器等への実装、行政機関、研究者による当該定義ファイルの作成配布の便を図るため、本インターフェースを公開致します。

## 2. システム要件

---

当システムの動作要件は以下のとおりです。

ディスプレイ： XGA(1024x768) の表示可能なディスプレイ

CPU： 1GHz 以上のプロセッサ

メモリ： 256MB 以上

OS： Windows 7, Windows 8.1, Windows 10

ブラウザ： Internet Explorer 6 以上, Microsoft Edge

その他必要システム： インターネット接続

.NET Framework 2.0、3.0、3.5 のいずれか

※ただし、認証が必要なプロキシサーバを介して通信する場合は、.NET Framework 3.5 が必要

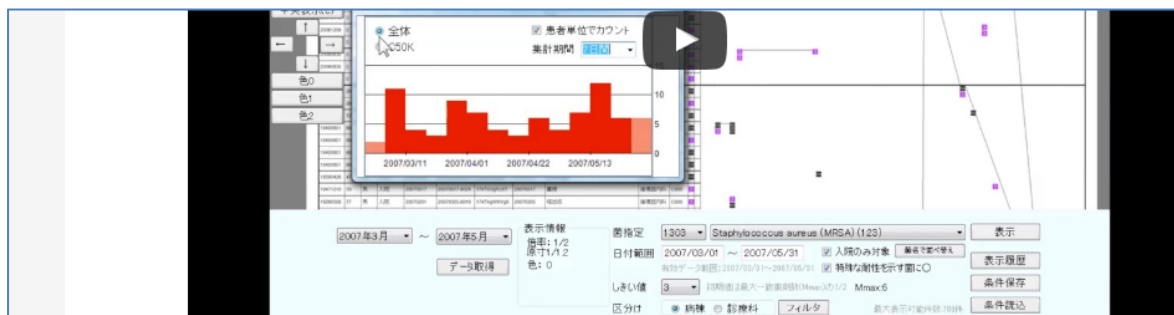
### 3. 起動

インターネットブラウザで 2DCM-web 実習システムサイトにアクセスします。

2DCM-web 実習システムサイト：

<http://yakutai.dept.med.gunma-u.ac.jp/project/2dcm/index.html>

画面下部の「耐性菌定義ファイル作成ツール起動」ボタンを押してください。



全画面表示(Youtube画面右下四角枠をクリック)で見ると見やすいです。



<https://youtu.be/FHP8Gxaeic8>でスマホなどからも見られます。

ポスター

実習手順書

2DCM-web利用手引書(JANIS版)

2DCM-web操作手順書(実習システム版)

**耐性菌定義ファイル作成ツール起動**

※ 既にツールを起動している場合は、そちらを閉じてからボタンを押してください。

※ Internet Explorer, Microsoft Edgeでご利用下さい。Internet Explorer, Microsoft Edge以外でも起動出来る場合がありますが、推奨しません。

耐性菌メッセージ定義ファイル仕様書(PDF:497KB)

耐性菌メッセージ定義ファイル作成ツール マニュアル(PDF:866KB)

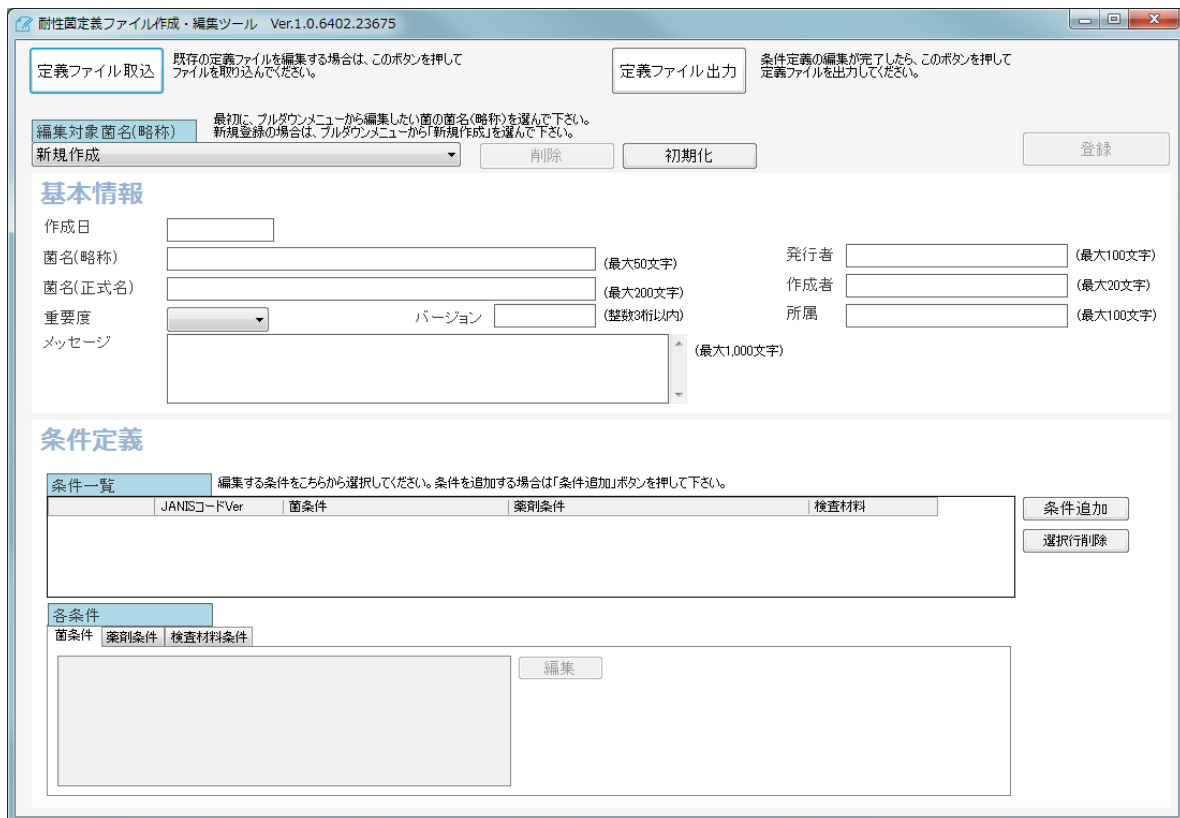
・ 定義ファイルsample(MRSACRE)(CSV:2KB)

ソフトのダウンロードが始まります。

以下の画面が表示された場合は、「実行」ボタンを押してください。



システムが起動するとメイン画面が表示されます。



システムを終了する場合は、メニューバー右上の「×」ボタンを押してください。

## 4. 操作方法

### 4.1. 画面構成・基本操作

耐性菌定義ファイル作成・編集ツール Ver.1.0.6402.23675

**定義ファイル取込** 既存の定義ファイルを編集する場合は、このボタンを押してファイルを取込込んでください。

**定義ファイル出力** 条件定義ファイルが出力されています。

**編集対象菌名(略称)** 最初、プルダウンメニューから編集したい菌の菌名(略称)を選んで下さい。新規登録の場合は、プルダウンメニューから「新規作成」を選んで下さい。

新規作成

## 定義ファイル取込/出力

## 菌選択/削除/登録

---

**基本情報**

作成日

菌名(略称)  (最大50文字) 発行者  (最大100文字)

菌名(正式名)  (最大200文字) 作成者  (最大20文字)

重要度  バージョン  (登録3桁以内) 所属  (最大100文字)

メッセージ  (最大1,000文字)

## 基本情報編集

---

**条件定義**

**条件一覧** 編集する条件をこちらから選択してください。条件を追加する場合は「条件追加」ボタンを押して下さい。

JANISコードVer	菌条件	薬剤条件	検査材料

**各条件**

菌条件

## 条件定義編集

## 4.1.1. 定義ファイル取込/出力メニュー

定義ファイル取込	既存の定義ファイルを編集する場合は、このボタンを押してファイルを取り込んでください。	定義ファイル出力	条件定義の編集が完了したら、このボタンを押して定義ファイルを出力してください。
----------	--	----------	---

- ・「定義ファイル取込」ボタン  
既存の定義ファイルを編集する場合は、このボタンを押してファイルをシステムに取り込んでください。  
取り込んだファイルに定義された情報をもとに、当システムで条件の再編集ができます。
- ・「定義ファイル出力」ボタン  
当システムで作成した各種菌条件を定義ファイルとして出力します。作成した定義ファイルは2DCM-web等の外部システムへ読み込ませて使用できます。  
作成した条件に不備がある場合はエラーメッセージが表示され、定義ファイルを出力することができません。

## 4.1.2. 菌選択/削除/登録メニュー

編集対象菌名(略称)	最初に、プルダウンメニューから編集したい菌の菌名(略称)を選んで下さい。新規登録の場合は、プルダウンメニューから「新規作成」を選んで下さい。		
MRSA (ver.100)	削除	初期化	登録

- ・「編集対象菌名(略称)」選択リスト  
条件を編集する菌をこちらで選択します。既存の菌を編集する場合はその対象菌、新規に条件を定義する場合は「新規作成」を選択してください。  
対象菌の条件が編集途中の場合は、菌の選択を変更すると注意メッセージが表示されます。編集中の条件を反映する場合は「登録」ボタンを押してから、選択菌を変更してください。  
こちらには「菌名略称 (ver.xxx)」の形式で菌が表示されます。
- ・「削除」ボタン  
「編集対象菌名(略称)」選択リストで選択されている菌を削除します。
- ・「初期化」ボタン  
定義されている菌をすべて削除します。「削除」ボタンでひとつひとつの菌を削除することもできますが、まとめて削除する場合はこちらを使用して下さい。
- ・「登録」ボタン  
編集した菌の各種定義を登録します。条件を編集(作成)した場合は必ずこのボタンを押して条件を反映させてください。



## 4.1.3. 基本情報編集メニュー

基本情報			
作成日	<input type="text" value="2017/07/01"/>		
菌名(略称)	<input type="text" value="CRE"/>	(最大50文字)	発行者 <input type="text" value="AMR対策管理センター"/> (最大100文字)
菌名(正式名)	<input type="text" value="カルバペネム耐性腸内細菌科細菌"/>	(最大200文字)	作成者 <input type="text" value="耐性 太郎"/> (最大20文字)
重要度	<input type="text" value="表示のみ"/> <input type="text" value="バージョン 100"/>	(整数3桁以内)	所属 <input type="text" value="管理本部"/> (最大100文字)
メッセージ	<input type="text" value="感染症発生動向調査対象菌です。"/>		
			(最大1,000文字)

「編集対象菌名(略称)」選択リストで選択した菌に対する基本情報を入力します。

設定項目は以下の通りです。

項目	説明
作成日	条件の作成日を入力します。YYYY/MM/DD形式で入力してください。 入力欄をダブルクリックしてカレンダーから設定することもできます。
菌名(略称)	菌の略称を入力します。
菌名(正式名)	菌の正式名称を入力します。
重要度	対象の菌が分離された際の重要度を選択します。 重要度の低い順から以下が選択可能です。 ・表示のみ ・強調表示 ・注意 ・警告 ・最重要
バージョン	菌のバージョンを入力します。同一菌を複数のバージョンで管理する場合は、こちらの値で管理してください。
発行者	発行者名(団体名等)を入力します。
作成者	作成者名を入力します。
所属	作成者の所属を入力します。
メッセージ	菌が分離された場合に表示するメッセージを入力します。

## 4.1.4. 条件定義編集メニュー

**条件定義**

条件一覧 編集する条件をこちらから選択してください。条件を追加する場合は「条件追加」ボタンを押して下さい。

条件一覧	JANISコードVer	菌条件	薬剤条件	検査材料
▶	V701	2000 OR 2001 OR 2002 OR ...	((1401 (CAT=I) OR 1401 (CAT=IR) OR 14...	

条件追加  
選択行削除

**各条件**

菌条件 薬剤条件 検査材料条件

2000 Escherichia sp.	編集
2001 Escherichia coli	
2002 Escherichia coli ,pathogenic	
2003 Escherichia coli ,enterohemorrhagic (EH...	
2004 Escherichia coli ,enteroinvasive (EIEC)	
2005 Escherichia coli ,enteropathogenic (EPEC)	

「編集対象菌名(略称)」選択リストで選択した菌に対する条件定義を入力します。入力箇所は以下の2つに分かれています。

**条件一覧**：選択した菌の条件を追加、削除します。1つの編集対象菌であっても、菌・薬剤・検査材料の組み合わせによって複数の条件が登録できます。1つの編集対象菌に対し、1つ以上の条件を登録します。

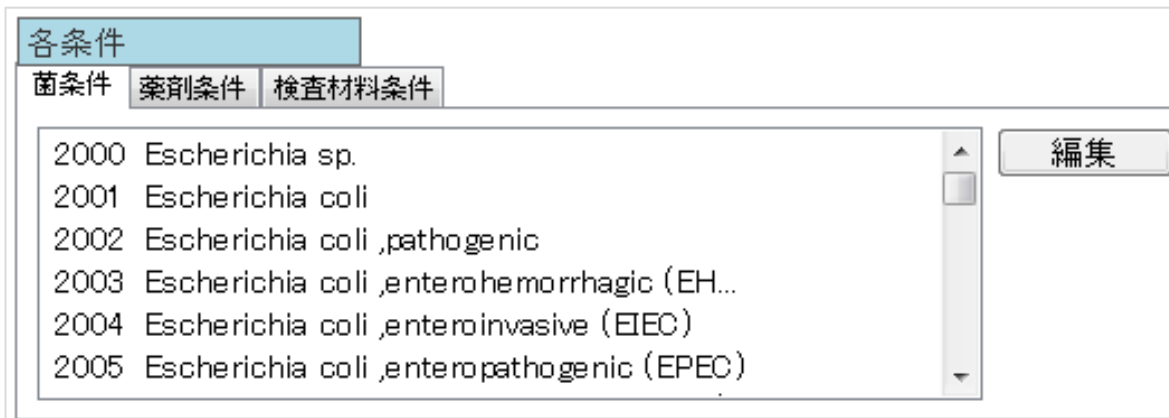
**各条件**：条件一覧で選択した条件の菌・薬剤・検査材料の各詳細条件を編集します。

## &lt;条件一覧&gt;

- ・「条件追加」ボタン  
編集対象菌に条件を追加します。
- ・「選択行削除」ボタン  
選択した条件を削除します。
- ・「JANISコードVer」入力欄  
条件として設定する菌・薬剤・検査材料のJANISでのコードVerを入力します。当システムではシステムに登録されているコードのVerが初期値として設定されます。

※ 菌条件、薬剤条件、検査材料は「各条件」欄で編集します。

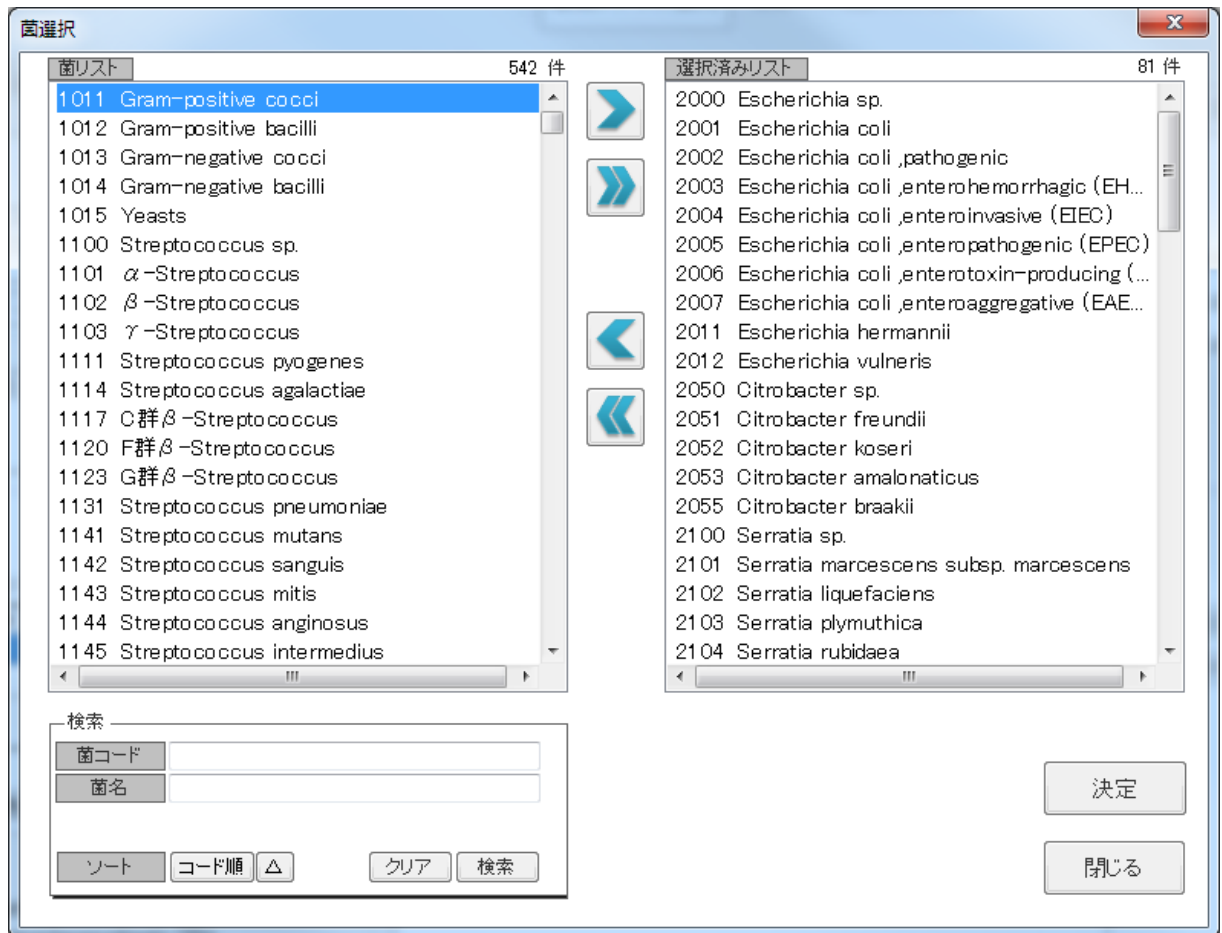
## &lt;各条件 - 菌条件タブ&gt;



## ・「編集」ボタン

菌の条件を追加、削除します。

こちらを押すと以下の画面が表示されます。



(薬剤、検査材料の選択時も同様の画面が表示されるので、同様の操作を行ってください。) ここでは画面左側の「菌リスト」から対象の菌を選択し[>]ボタンを押し、「選択済みリスト」に対象菌を反映させ、最後に「決定」ボタンを押します。各ボタンの操作方法は以下の通りです。

## ・「&gt;」ボタン

「菌リスト」で選択している菌を「選択済みリスト」へ反映させます。

## ・「&gt;&gt;」ボタン

「菌リスト」に表示されている菌をすべて「選択済みリスト」へ反映させます。

- ・「<」ボタン  
「選択済みリスト」で選択している菌を除外します。
  - ・「<<」ボタン  
「選択済みリスト」に表示されている菌をすべて除外します。
  - ・「検索」欄  
菌コードや菌名での菌の絞り込み、ソートを行います。
  - ・「決定」ボタン  
「選択済みリスト」に表示されている菌を菌条件に反映させます。
  - ・「閉じる」ボタン  
編集をキャンセルして前の画面に戻ります。
- ※ 「菌リスト」「選択済みリスト」では、キーボードの[Ctrl]キーや[Shift]キーを使用して一度に複数選択することが可能です。

#### <各条件 - 薬剤条件タブ>

- ・薬剤条件入力欄  
薬剤条件を入力します。ここで手入力することもできますが、各ボタンにて条件を編集することも可能です。  
※ 入力形式は「耐性菌条件/警告・案内定義メッセージ定義書」をご参考下さい。  
※ 4,000文字まで入力可能です。
- ・(文字挿入)「薬剤追加」ボタン  
薬剤条件入力欄のカーソルの位置に薬剤条件を追加します。ボタンを押すと薬剤の選択画面が表示されるので、そちらから薬剤を選択してください。
- ・(文字挿入)「AND」「OR」「(」「)」ボタン  
薬剤条件入力欄のカーソルの位置に各ボタンの文字を追加します。
- ・(各種条件設定)「SIR」選択リスト  
薬剤条件入力欄のカーソルの位置にある薬剤のSIRの条件を選択します。  
※ カーソルが薬剤の位置にない場合は、こちらは設定できません。  
(MIC値、阻止円径も同様)

- ・(各種条件設定)「MIC 値」

薬剤条件入力欄のカーソルの位置にある薬剤の MIC 値の条件を不等号または等号と数値で設定します。

- ・(各種条件設定)「阻止円径」

薬剤条件入力欄のカーソルの位置にある薬剤の阻止円径値(mm)を数値で設定します。

※ 薬剤条件が規程の形式に沿ってない場合、以下のように赤字でエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容に従い、条件を編集してください。

The screenshot shows the '各条件' (Conditions) window with three tabs: '菌条件' (Bacterial Conditions), '薬剤条件' (Drug Conditions), and '検査材料条件' (Sample Conditions). The '菌条件' tab is active, displaying a complex logical expression: `((1401(CAT=S) OR 1401(CAT=IR) OR 1401(CAT=R)) AND 1601(CAT=R)) OR ((1411(CAT=I) OR 1411(CAT=IR) OR 1411(CAT=R)) AND`. The expression is highlighted in red, and a red error message below it reads: `[ AND ]で終了しています。` (Ends with [ AND ]). Below the expression is a '文字挿入' (Text Insertion) area with buttons for '薬剤追加' (Add Drug), 'AND', 'OR', '(', and ')'. To the right, the '各種条件設定' (Various Condition Settings) panel is visible, with fields for 'SIR', 'MIC値' (MIC value), and '阻止円径' (Inhibition Diameter) with a dropdown menu and a numeric input field.

<各条件 - 検査材料条件タブ>

The screenshot shows the '各条件' (Conditions) window with the '検査材料条件' (Sample Conditions) tab selected. The window displays a list of sample conditions:

401	静脈血
402	動脈血
403	髄液
404	胸水
405	腹水

To the right of the list is a vertical scrollbar and a '編集' (Edit) button.

- ・「編集」ボタン

検査材料の条件を追加、削除します。

検査材料の選択方法は菌条件の選択方法と同じです。

## 4.2. 利用手順

当システムの基本的な利用手順は、(定義ファイル取込→)菌条件編集・作成→定義ファイル出力となります。

### 4.2.1. 定義ファイル取込

システムを起動し、すでに作成済みの定義ファイルを編集する場合は定義ファイルの取り込みを行います。

「定義ファイル取込」ボタンを押して対象のファイルを選択して下さい。

ただし、一から定義を作成する場合はこの操作は不要です。

## 4.2.2. 菌条件編集・作成

各菌条件の条件を編集します。

「4.1.2 菌選択/削除/登録メニュー」「4.1.3 基本情報編集メニュー」「4.1.4 条件定義編集メニュー」を参考に各菌の条件を編集・作成してください。各菌の編集ごとに必ず「登録」ボタンを押してください。

定義ファイル取込 既存の定義ファイルを編集する場合は、このボタンを押してファイルを取り込んでください。

定義ファイル出力 条件定義の編集が完了したら、このボタンを押して定義ファイルを出力してください。

編集対象菌名(略称) 最初に、プルダウンメニューから編集したい菌の菌名(略称)を選んで下さい。新規登録の場合は、プルダウンメニューから「新規作成」を選んで下さい。

菌名(略称) ORE (ver.100) 削除 初期化 登録

### 基本情報

作成日 2017/07/12

菌名(略称) ORE (最大50文字) 発行者 AMR対策管理センター (最大100文字)

菌名(正式名) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (最大200文字) 作成者 耐性 太郎 (最大20文字)

重要度 表示のみ バージョン 100 (整数3桁以内) 所属 管理本部 (最大100文字)

メッセージ 感染症発生動向調査対象菌です。 (最大1,000文字)

### 条件定義

条件一覧 編集する条件をこちらから選択してください。条件を追加する場合は「条件追加」ボタンを押して下さい。

JANISコードVer	菌条件	薬剤条件	検査材料
V701	2000 OR 2001 OR 2002 OR ...	((1401(CAT=I) OR 1401(CAT=IR) OR 14...	

条件追加 選択行削除

各条件

菌条件 薬剤条件 検査材料条件

((1401(CAT=I) OR 1401(CAT=IR) OR 1401(CAT=R) AND 1601(CAT=R) OR (1411(CAT=I) OR 1411(CAT=IR) OR 1411(CAT=R))

文字挿入

薬剤追加 AND OR ( )

各種条件設定

SIR

MIC値

阻止円径 ≤

## 4.2.3. 定義ファイル出力

「定義ファイル出力」ボタンを押して編集した菌条件を定義ファイルとして出力します。定義ファイルは既存ファイルに上書きで保存することや別名のファイルとして保存することができます。

※ 「定義ファイル取込」で条件を取り込んでいても、この操作で上書きしない限り、取込元ファイルは変更されません。

耐性菌定義ファイル作成・編集ツール Ver.1.0.6402.23675

定義ファイル取込 既存の定義ファイルを編集する場合は、このボタンを押してファイルを取り込んでください。

編集対象菌名(略称) 最初に、プルダウンメニューから編集したい菌の菌名(略称)を選んで下さい。新規登録の場合は、プルダウンメニューから「新規作成」を選んで下さい。  
CRE (ver.100) 削除 登録

### 定義ファイル出力

#### 基本情報

作成日 2017/07/12

菌名(略称) CRE (最大50文字)

菌名(正式名) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (最大200文字)

重要度 表示のみ バージョン 100 (整数3桁以内)

メッセージ 感染症発生動向調査対象菌です。 (最大1,000文字)

発行者 AMR対策管理センター (最大100文字)

作成者 耐性 太郎 (最大20文字)

所属 管理本部 (最大100文字)

#### 条件定義

条件一覧 編集する条件をこちらから選択してください。条件を追加する場合は「条件追加」ボタンを押して下さい。

条件一覧	JANISコードVer	菌条件	薬剤条件	検査材料
▶	V701	2000 OR 2001 OR 2002 OR ...	((1401(CAT=I) OR 1401(CAT=IR) OR 14...	

条件追加 選択行削除

#### 各条件

菌条件 薬剤条件 検査材料条件

((1401(CAT=I) OR 1401(CAT=IR) OR 1401(CAT=R)) AND 1601(CAT=R)) OR (1411(CAT=I) OR 1411(CAT=IR) OR 1411(CAT=R))

文字挿入 薬剤追加 AND OR ( )

各種条件設定

SIR [ ]

MIC値 [ ]

阻止円径 ≤ [ ]



## 5. 改版履歴

---

初版(2017/8/23)